

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ハミング ことばとからだところの教室(重心)		2026年 2月 27日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	5	0		
	2	4	0	音楽活動やハンモック、トランポリンなど利用児が多くても、少ない人数で楽しめるようにしている。同時に順番を待つことにもつなげている。	法定で決められた配置数は遵守できている。しかし、送迎等の関係で、曜日や時間によっては、職員が少ないと感じることがある。集団活動の工夫をしていくことで対応していく。
	3	3	1	全てがバリアフリーではないことで、児が意識的に体を動かせるようにし、運動発達を促せるようにしている。	
	4	4	0		
	5	2	3	他害がある子と乳幼児(独歩や移動が難しい児)を同じ部屋にならないように分けている。 交流の場合は支援員を増やし対応している。 必要な場面(発作等)での専用の個室はないが、パーテーションやカーテンなどを使用する、他の利用児を移動してもらうなどの工夫を行うこと、部屋の一部を静養室とすることで対応している。	今後利用人数が増えることで、複数人が発作や落ち着かないといった内容で複数の静養室が必要になると思われる場合は、部屋の使い方やレイアウトを変更する必要がある。
業務改善	6	3	1		
	7	3	0		
	8	3	0		
	9	2	1		現状、実施していない。
	10	2	0		
適	11	3	0		
	12	3	0		
	13	4	0		
	14	4	1		パート職員までの周知がされていないため、計画の表示の仕方やパート職員を含めたミーティング方法を確率していく。
	15	3	0		
	16	3	0		

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	2	職員間でのノートでの情報共有と園と共同での連絡帳の確認を行っている。 毎日の行動予定表の作成をして誰が誰を担当するかを決めている。	終業時間がそれぞれ違うため、ノートでの情報共有を次の日の利用時間前までには行うようにしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	3		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0	医療面については必要な時に医療機関に確認を行っている。 送迎時に学校の先生から一日の様子の聞き取りを行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	1	保護者からの情報確認が中心ではあるが、不足の部分を共有し相互理解に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	0	生活介護との多機能型事業所であり、生活介護での併用の場合は、卒業前の移行支援会議によって、学校、他事業所、市役所等と支援内容も含めて情報提供や共有を行っており、卒業後も機会があれば、担任や学校との様子を伝えあっている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	1		重心に特化されていないため、重心に関してはスーパーバイズを受ける機会がありません。今後、地域の児童発達支援センターを利用しているお子さんについては、必要に応じてスーパーバイズを受ける機会ができて良い。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4		集団活動としては、難しい部分もあるため、平日に朝から利用している児に個別に地域の公園や図書館に行ける機会を考えて行く。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	2		法人として子ども部会に参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	内容によっては児童発達支援センターから配布される研修の案内を保護者に渡している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	1	送迎時や個別支援計画更新の面談時等に聞き取り、助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	1	法人全体の取り組みとしてけやき祭りを開催している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1		法人での年1回でのけやき祭りの実施
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	毎月改善活動として5S改善活動を実施している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハミング ことばとからだところの教室(重症心身障害児)		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日 ~ 2025年 12月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	4
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日 ~ 2025年 12月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	機能訓練担当の職員がいることで、より専門的な取り組みが行える。	機能訓練担当職員が行った取り組みについて、日常生活の中で取り組めることは他の職員もできることは取り組んでいる。	研修やOJTを通じて機能訓練担当職員以外の職員ができることがより多くなり、専門的な関わりが増えていく。
2	児童発達支援事業もあるため、放デイまで一貫した療育を実践ができる環境がある。また、医療職(看護師・OT・ST)が在籍することで、医ケア児の受け入れもできる。	現在利用している人に、利用の状況や、過去利用した利用児の進路を伝えている。	利用児家族の要望を確認しつつ、受け入れ態勢をとっている。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動がマンネリ化しやすい。	職員のイメージ力や企画力が低い。	ミーティングの中で案を出し合ったり、児の状況を知ったうえで、どのような取り組みが有効であるかを考えられるような研修や情報収集が必要である。 重心の他の事業所見学に行くなど見学する機会をつくる。 活動年間計画の策定をする。
2	情報の発信力が弱い。	月1回の事業所通信を発行しているが、そのなかで放課後等デイサービスでの活動や療育内容を伝えきれていない。	通信の様式の変更であったり、別の媒体を通じて情報を発信する。連絡ノートを使用してエピソードを保護者に伝わりやすくする。
3	職員間で事業所としての情報が知られていない部分がある。	現場で勤務している職員に対してサービスの仕組みであったり、ガイドラインについての周知が足りていなかった。	ガイドラインを中心とした勉強会を行うことでサービスの中で行うことや目的等の職員全体の知識の向上を目指す。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ハミング こぼとからだところの教室(重心)

公表日 2026年2月27日

利用児童数 5

回収数 4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	1	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3	1	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2	1	0	1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3	0	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4	0	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	0	0	0	4		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	0	0	3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	4	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	1	1	2		
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	0	0	0			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	0	0	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	0	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2	0	0	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	4	0	0	0		